



2-way Dialogue System



取扱説明書

双方向対話システム

WAVE ELITE

はじめに

このたびは、双方向対話システム WAVE ELITE をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の際は本取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

付属品や別売品は販売店でお求めいただけます。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	1
お取扱いのご注意・メンテナンス	2
各部の名前と主な機能	3
スクリーン表示とLED表示	4
基本的な操作	5
使用前の設定について	6・7
各モードの操作方法	8
製品仕様	9
別売オプション	10
故障かな？と思ったら	11
保証書	12

安全上のご注意（必ずお守りください）



この表示は、してはいけない禁止行為です。



この表示は、実行しなければならない内容です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



本機を湿気や雨水が当たる場所に置かないでください。ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電する危険性があります。



本機を分解、改造しないでください。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



外部から強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。故障の原因になります。



異常に温度が高くなる場所に置かないでください。温度が高くなりすぎて火災の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。



コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。

双方向対話システムWAVE ELITE お取り扱いのご注意

初めてご使用になる前に、必ず充電してください。



本機WAVE ELITEは充電用電池を内蔵しています。本製品開封後初めてご使用になる前にフル充電を行ってください。

工場出荷前に充電してありますが、長距離の輸送や長時間の保管により電池は自然に放電し、電力不足を起こしている場合があります。

電池寿命をできるだけ長く保つため、必ずこれらの動作をおこなってください。

充電は定期的に行ってください。



電池残量が50%未満になった場合は、適宜充電を行ってください。

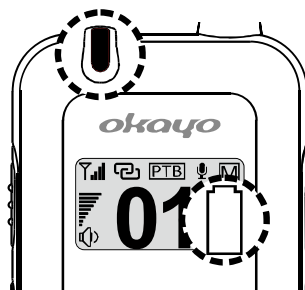
長期間保管する前には少なくとも電池残量が50%残っていることを確認し、使用されない場合でも3か月ごとに充電してください。

使用時に赤色のLEDランプが表示された場合はすぐに電池を充電してください。



赤色のLEDランプが表示された場合は、できるだけ早く本機を充電してください。

この現象が現れた場合は、すぐに電池を充電し、続けて使用しないでください。



使用時に異常が見つかった場合は、使用を中止してください。



本機の過熱や電池寿命の異常が見つかった場合は、使用を中止してください。詳しい検査や電池の交換については、販売元にお問い合わせください。

ラベルについてのご注意

証明ラベルをむやみに剥がさないでください。



本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明ラベルを剥がさないでください。

電池の廃棄・リサイクルについて



Li-ion



使用済みの電池の廃棄については、お住いの地域の廃棄規定に従ってください。電池はリサイクルすることが可能です。

電池の破壊、解体、焼却などの行為はやめてください。

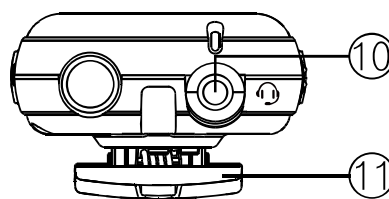
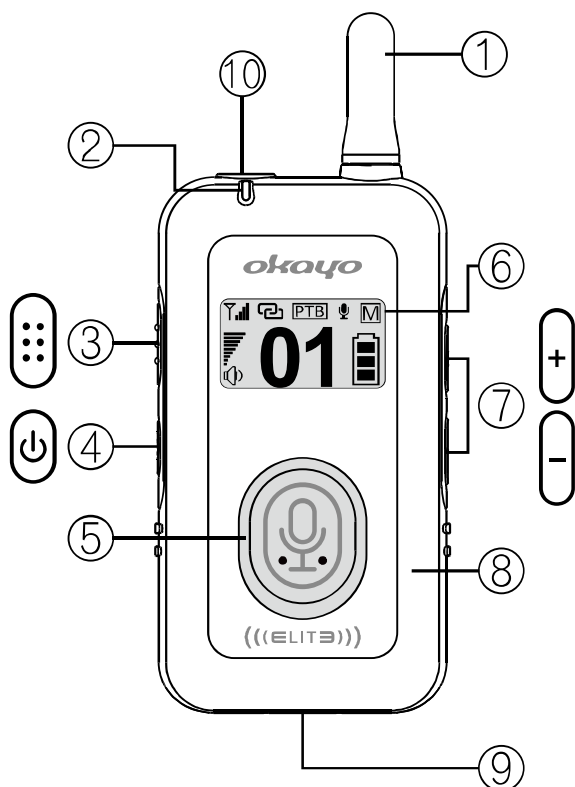
各部の名前と主な機能



WAVE ELITE は、AES方式（128ビット）暗号化が可能な全二重通信システムです。

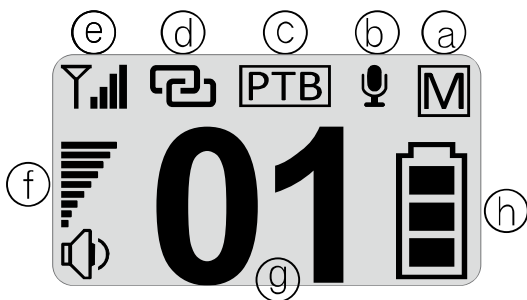
マスター1台とサブマスター2台が同時に通話可能です。同一チャンネルに設定したサブマスターを無制限に追加することが可能です。（※3台目以降のサブマスターは聞くのみで話すことはできません。）

6スロット充電器C6（別売）を使用すると、1つのコンセントでWAVE ELITEを最大6台同時に充電することができ、より実用的な運用が可能です。



1. アンテナ
2. LED 表示
3. 機能ボタン
4. 電源ボタン
5. トーク/ミュートボタン
6. 0.96 インチ有機 EL ディスプレイ
7. 上/下ボタン(+/-)
8. 内蔵バッテリー
9. USB-C 充電口
10. ヘッドセット接続
11. ベルトクリップ

■ スクリーン表示

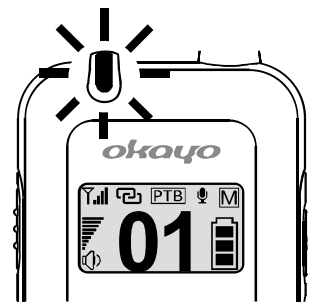


- a. **M** = マスター設定 / **S** = サブマスター設定
- b. **🔊** = マイクオン / **🔇** = マイクミュート
- c. **PTB** = PTB モード / **PTT** = PTT モード
- d. **👥** = グルーピング表示
- e. マスター設定の場合：高周波出力
サブマスター設定の場合：信号強度
- f. ボリューム：0(🔇)～9までの設定
🔊 = 通常モード / 🎧 = 補聴器モード
- g. チャンネル番号

h. バッテリー残量 100% 70%～40% 40%～10% 10%未満

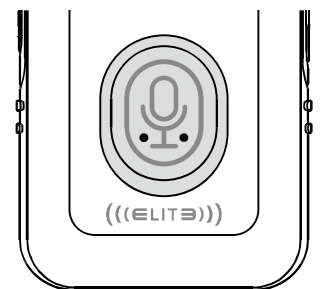
■ LED表示

状態	マスター	サブマスター
青	バッテリー残量が充分です	
赤	バッテリー残量が少なくなっています	
点灯	端末がオンになっています	端末がオンでグルーピングされています
ゆっくり点滅	—	端末がオンになっていますがグルーピングされていません
速く点滅	グルーピング設定中	—



■ マイク表示

- 青点灯：マイクオン … 話した声が他の端末に届きます。
- 赤点灯：マイクミュート … マイクがミュート状態のため、話しても他の端末に音が届きません。
- 青 / 赤点滅：アテンションモードに設定中です。
- 消灯：受信のみになり、押してもマイクオンに切り替えることはできません。

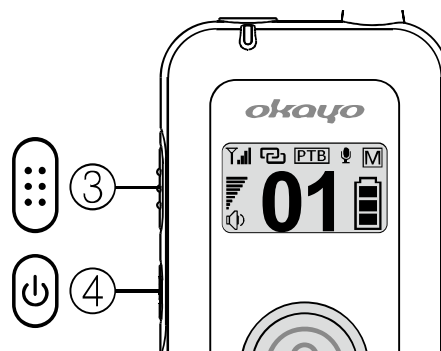


※同時に双方向通話ができるのは3台までです。4台目以降は受信のみになります。

電源を入れる

■ マスターに設定する場合

機能ボタン(3)と電源ボタン(4)を同時に2秒間長押しして電源を入れると、マスター端末として設定されます。



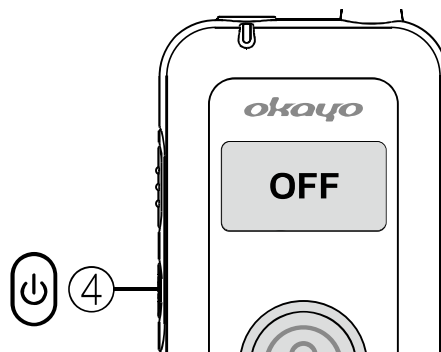
■ サブマスターに設定する場合

電源ボタン(4)を2秒間長押しして電源を入れると、サブマスター端末として設定されます。



電源を切る

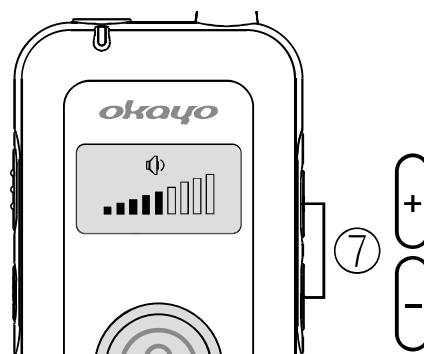
「OFF」が表示されるまで電源ボタン(4)を3秒間長押しします。



音量調節する

+ と - で音量調節します。

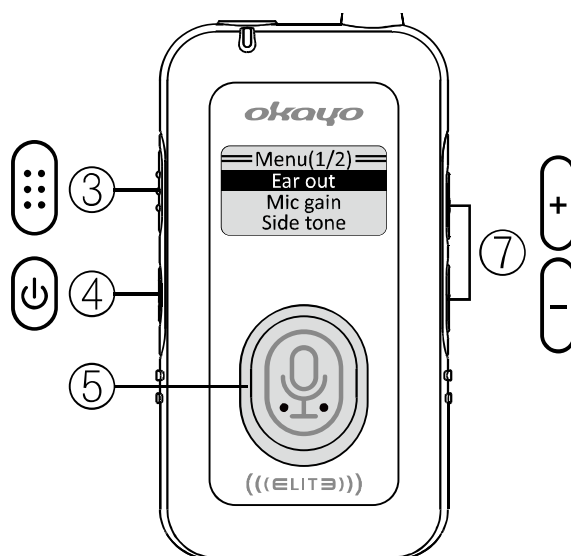
音量は0(🔇)～9までの10段階で調整できます。




■ 基本設定


端末の最適なパフォーマンスを確保するために、初めに基本設定することをお勧めします。設定メニューは以下の通りです。

1. 設定メニューが表示されるまで機能ボタン(3)を押し続けます。
2. + または - で調整し、(3)を押して設定します。
3. すべての調整が完了したら、「Save&Exit」を選択して終了します。



■ Ear out (音声出力)

Regular(通常モード)  …通常の設定

HAC(補聴器モード)  …補聴器使用者の場合、こちらに設定します。通常より大音量になります。

■ Mic gain (マイクゲイン)


Low(低) / Medium(中) / High(高)


■ Side tone (側音)

自分のイヤホンから聞こえる自分の話す声の音量を調整します。

Off(切) / Low(小) / High(大)

■ Talk (トークモード設定)

PTB …通常のトークモード。  トーク / ミュートボタン(5)を短く押すとマイクオンになり、話せます。

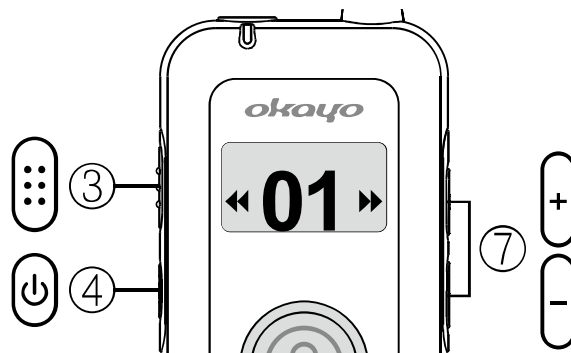
PTT …プッシュトークモード。  トーク / ミュートボタン(5)を押している間だけマイクオンになり、話せます。

■ Save & Exit (保存して終了)

(-)ボタンで Save & Exit を選択した状態で機能ボタン(3)を短く押すと設定が完了します。


■ チャンネルを設定する

1. 下図のような画面が表示されるまで、+ と- の両方を 5 秒間長押しします。
2. + または- で割り当てられたチャンネルを選択します。
3. 機能ボタン(3)を押して確定/終了します。




■ グループ設定

グループ設定する前に、すべての端末が同じチャンネルに設定されていることを確認してください。


1. 先に、マスター端末の電源を入れます。機能ボタン(3)と電源ボタン(4)を同時に 2 秒間長押ししてマスターの電源をオンにします。
2. グループアイコン  が表示されるまで(3)と(+)の両方を押し続けます。マスター信号表示(2)が点滅し始めます。
3. 次に、サブマスター端末の電源を入れます。電源ボタン(4)を 2 秒間長押ししてサブマスターの電源をオンにし、マスターのグループ信号を受信します。
4. サブマスターの信号表示(2)が青色に点灯すると、グループが成功しています。
5. 最後に、マスターの機能ボタン(3)を短く押して終了します。グループアイコンがすべての端末に表示され、グループは完了です。
6. グループを解除するには、電源を切った状態で電源ボタン(4)と(+)(-)を同時に長押しし、本機をリセットします。

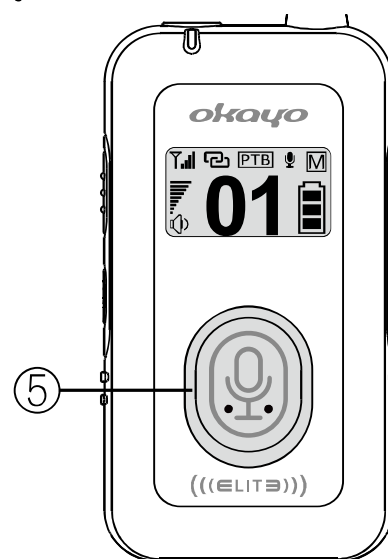
※リセットする場合は、基本設定(6 ページ参照)も初期値に戻ります。

■ PTBモード（トークモード）で話す

1. 初期設定のトークモードは「PTB」になっています。トーク/ミュートボタン(5)  を短く押してマイクを有効にします。
2. もう一度押すとマイクがミュートになります。



■ PTTモード（プッシュトークモード）で話す

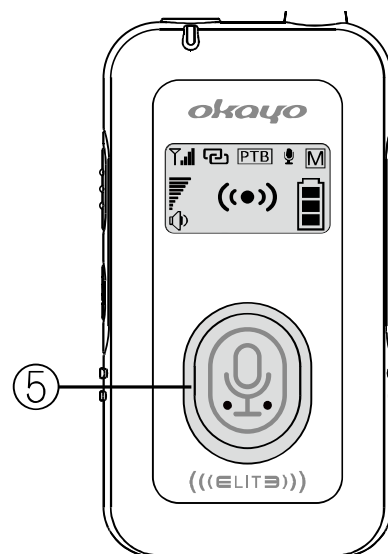
1. 設定でトークモードを「PTT」に設定します。PTTモードではトーク/ミュートボタン(5)  を押している間のみマイクが有効になります。
2. ボタンから手を離すとマイクがミュートになります。



■ アテンションモード

アテンションモード時は、マスターがサブマスターの音をミュートにすることができます。

1. アテンションアイコン((●))が表示されるまでマスター端末のトーク/ミュートボタン(5)  を押し続けます。
2. すべての端末でマイク表示(5)が点滅します。マスターは青点滅、サブマスターは赤点滅になります。
3. このモードを終了するにはマスターのトーク/ミュートボタン(5)  をもう一度短く押します。



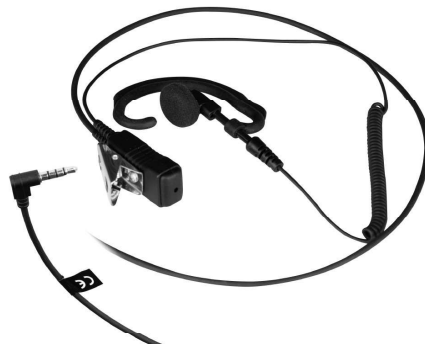
WAVE ELITE

エミッション変調	4 GFSK
周波数範囲	920.5 ~ 928.1 MHz
マイクタイプ	コンデンサー式
高周波出力	20mW
直流電流	75 ± 10 mA@20mW
必要帯域幅	200 kHz 未満
サンプリングレート (SR)	8 kHz
調整可能周波数	920.5 ~ 928.1 MHz / 30 波の切替可能な周波数
イヤホン出力レベル	300 ± 30 mV
周波数応答	300 Hz ~ 3.4 kHz
レイテンシー (遅延時間)	80 mS 未満
動作範囲	100 メートル (屋外で対面使用の場合)
使用温度範囲	-10 ~ +60 °C
内蔵バッテリー	1300mAh リチウムイオンバッテリー
使用時間	15 時間
充電時間	3 ~ 5 時間
電池表示レベル	3 = 100 % 2 = 電池残量 70 % ~ 40 % 1 = 電池残量 40 % ~ 10 % 0 = 電池残量 10% 未満
LED 表示	■RF リンク正常 : 青点灯 ■電池残量が少ない : 赤点灯 ■充電表示 充電中 : 赤 満充電 / 弱電流充電 : 青 充電エラー : 速い赤点滅 7 Hz / バッテリーが認識されていません
トーク / ミュート表示	トーク : 青点灯、ミュート : 赤点灯
パネル機能	+ ボタン、- ボタン、設定ボタン、トーク / ミュートボタン、電源ボタン
有機 EL ディスプレイ	0.96 インチ / 128×64 ドット / カラー : 黄色
認証規格	CE、TELEC
寸法	D28×W43×H105 mm (ベルトクリップを含む)
質量	65 ± 5 g (ベルトクリップを含む)

この取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。



6 スロット充電器 C6



PTT ボタン付イヤーマイク
EMC-307



ヘッドセット型イヤーマイク
HEM-20



片耳掛けイヤーマイク
EMC-301

故障かな？と思ったら

グルーピングが実行できない

- グルーピングする前に、すべての端末が同じチャンネルに設定されていることを確認してください。

チーム内で音が聞こえない

- 端末のボリューム設定が正しく設定されているかを確認してください。
- イヤーマイク/ヘッドセットが正しく接続されているかを確認してください。
- グルーピングされているかを確認してください。
- マスターがグルーピングされているかを確認してください。

チーム内で話せない

- イヤーマイク/ヘッドセットが正しく接続されているかを確認してください。
- アテンションモードになっていないことを確認してください。
- トークボタンが点灯していることを確認してください。そうでない場合は、他のサブマスターがトーク権を解放するまで待ちます。※同時に話せるのはマスター1台・サブマスター2台の合計3台までです。

マスターがアテンションモードに入らない

- マスターのトークモードが「PTB」に設定されていることを確認してください。

【製造】



OKAYO ELECTRONICS CO., LTD.

【販売】



okayo
Japan

Okayo Japan 株式会社

- 東京本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-2 東京タイムズタワー501号
TEL:03-6261-3338 FAX:03-6261-3087
- 福岡オフィス 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目12-27 2F
TEL:092-710-4688 FAX:092-710-4689
- 本店物流・テクニカルサポートセンター 〒852-8136 長崎県長崎市家野町5番19号
TEL:095-801-8100 FAX:095-801-8080
- 台湾オフィス 104 台北市中山區南京東路2段101号10F
TEL:+886-2-2511-1606 FAX:+886-2-2511-0199